

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-16-5
株式会社 QLife(キューライフ)

**医師が後発医薬品の処方選択で重要視するのは「品質」と「安定供給体制」
重要視する評価項目を充たすメーカーは、全項目でファイザーが最も高い評価を獲得
～後発医薬品の処方選択で重要視する項目についての医師アンケート～**

月 500 万人が利用する日本最大級の病院検索サイト、医薬品検索サイト、医療情報サイトを運営する総合医療メディア会社の株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都世田谷区、代表取締役:山内善行)は、全国の医師を対象に『後発医薬品の処方選択に重要視すること』に関するアンケートを実施。802 人から回答を得た。

【調査結果概要】

1) 約 30%の医師が一般名処方を中心に行っており、『後発医薬品不可』は約 15%にとどまる

後発医薬品を含む処方方針について、約半数が「先発名で処方しているが、後発医薬品の処方は禁止していない」と回答。また、約 3 割の医師が一般名処方を行っており、後発医薬品の処方に対し、抵抗はそれほどないことがうかがえる。

2) 後発医薬品の処方選択で「製剤そのものの評価」以外で重要視するのは、『品質に信頼が置くことができる』『有害事象を適切に報告し、発生時も迅速に対応できる体制がある』など

製剤そのものの評価以外で、後発医薬品提供メーカーで重要視する点について、約半数の医師が「品質に信頼が置くことができる」「有害事象を適切に報告し、発生時も迅速に対応できる体制がある」「医療安全に対して積極的に取り組んでいる」に対し「非常にそう思う」と回答したほか、7 割を超える医師が「製品を安定して供給できる体制が整っている」に対し「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した。後発医薬品提供メーカーにおいても、新薬メーカーと同等の体制が求められることが分かった。

3) 「ファイザー」が後発医薬品提供メーカーの中で医師が重要視する点を最も満たしている、と評価

重要視する点において「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した医師に、その項目にあてはまるメーカーを聞いたところ、「ファイザー」が全項目において、最も高い評価を獲得。全項目平均でも 55.0%と他社を大きく離しての高評価となった。これまでの新薬における情報提供体制などの信頼感に加え、後発医薬品事業においても、新薬とほぼ同じ体制を表明していることから、医師からの信頼が厚いことがうかがえる。次いで評価されたメーカーは、「第一三共エスファ(全項目平均 10.8%)」、「沢井製薬(全項目平均 6.5%)」となっている。

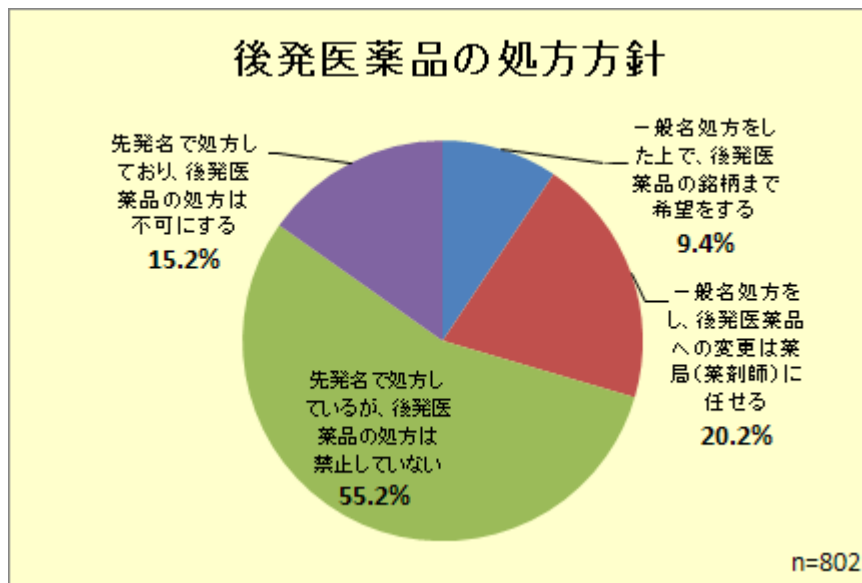
【実施概要】

- (1) 調査対象: 全国の医師
- (2) 有効回収数: 802 人
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2012/6/1～2012/6/6

【調査結果詳細】

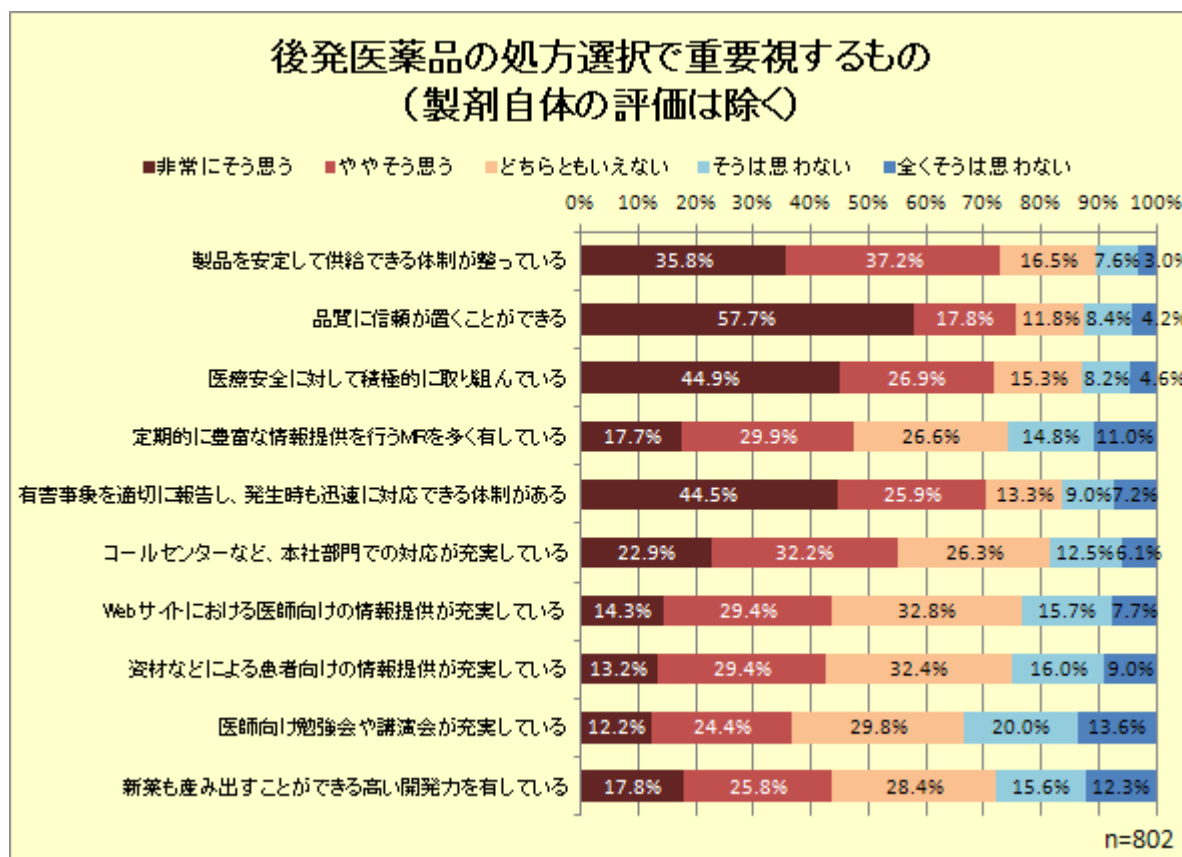
Q1.後発医薬品に関する普段の処方方針について

	n	%
一般名処方をした上で、後発医薬品の銘柄まで希望をする	75	9.4%
一般名処方をし、後発医薬品への変更は薬局(薬剤師)に任せる	162	20.2%
先発名で処方しているが、後発医薬品の処方は禁止していない	443	55.2%
先発名で処方しており、後発医薬品の処方は不可にする	122	15.2%
計	802	100.0%



Q2.後発医薬品の処方選択において「製剤そのものの評価」のほかに重要と思う項目について

	n	非常に そう思う	やや そう思う	どちらともい えない	そうは 思わない	全くそうは 思わない
製品を安定して供給できる体制が整っている	802 (100.0%)	287 (35.8%)	298 (37.2%)	132 (16.5%)	61 (7.6%)	24 (3.0%)
品質に信頼が置くことができる	802 (100.0%)	463 (57.7%)	143 (17.8%)	95 (11.8%)	67 (8.4%)	34 (4.2%)
医療安全に対して積極的に取り組んでいる	802 (100.0%)	360 (44.9%)	216 (26.9%)	123 (15.3%)	66 (8.2%)	37 (4.6%)
定期的に豊富な情報提供を行うMRを多く有している	802 (100.0%)	142 (17.7%)	240 (29.9%)	213 (26.6%)	119 (14.8%)	88 (11.0%)
有害事象を適切に報告し、発生時も迅速に対応できる体制がある	802 (100.0%)	357 (44.5%)	208 (25.9%)	107 (13.3%)	72 (9.0%)	58 (7.2%)
コールセンターなど、本社部門での対応が充実している	802 (100.0%)	184 (22.9%)	258 (32.2%)	211 (26.3%)	100 (12.5%)	49 (6.1%)
Webサイトにおける医師向けの情報提供が充実している	802 (100.0%)	115 (14.3%)	236 (29.4%)	263 (32.8%)	126 (15.7%)	62 (7.7%)
資材などによる患者向けの情報提供が充実している	802 (100.0%)	106 (13.2%)	236 (29.4%)	260 (32.4%)	128 (16.0%)	72 (9.0%)
医師向け勉強会や講演会が充実している	802 (100.0%)	98 (12.2%)	196 (24.4%)	239 (29.8%)	160 (20.0%)	109 (13.6%)
新薬も産み出すことができる高い開発力を有している	802 (100.0%)	143 (17.8%)	207 (25.8%)	228 (28.4%)	125 (15.6%)	99 (12.3%)

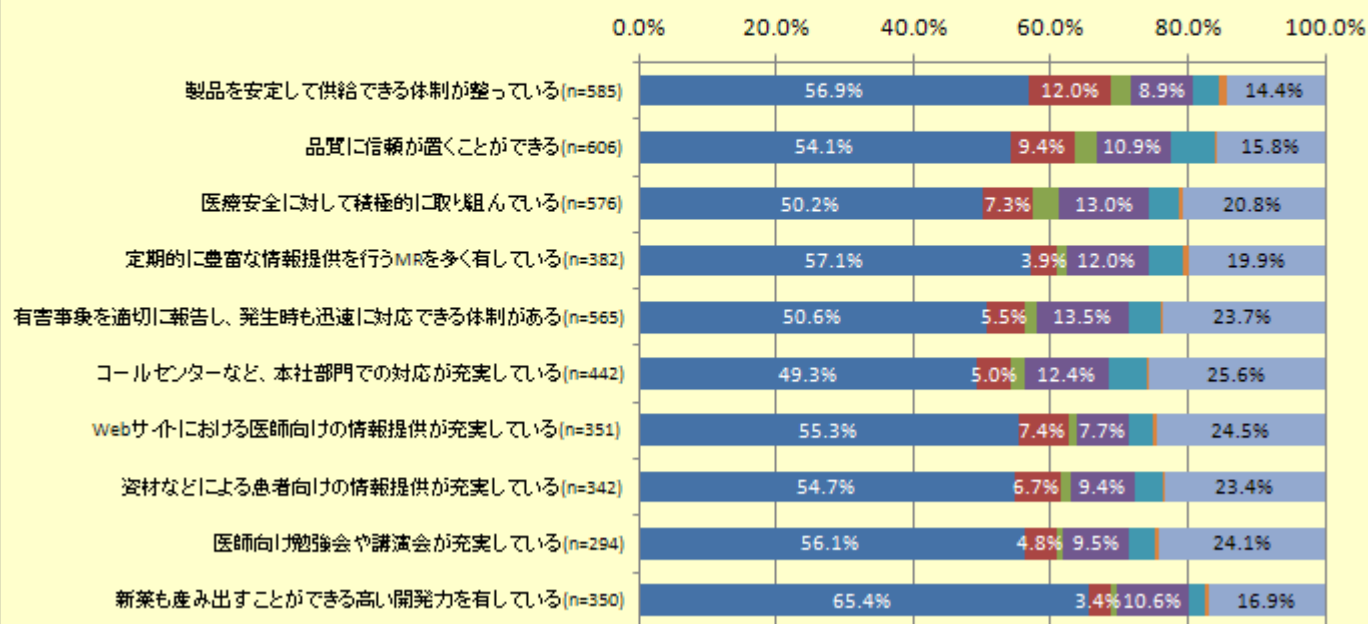


Q3. (Q2 において各項目で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した医師のみ)
重要視する項目において、それを最も満たしていると考える製薬メーカーについて

	n	ファイザー	沢井製薬	日医工	第一三共 エスファ	meiji seika ファルマ	テバ製薬	その他
製品を安定して供給できる体制が整っている	585 (100.0%)	333 (56.9%)	70 (12.0%)	17 (2.9%)	52 (8.9%)	23 (3.9%)	6 (1.0%)	84 (14.4%)
品質に信頼が置くことができる	606 (100.0%)	328 (54.1%)	57 (9.4%)	19 (3.1%)	66 (10.9%)	39 (6.4%)	1 (0.2%)	96 (15.8%)
医療安全に対して積極的に取り組んでいる	576 (100.0%)	289 (50.2%)	42 (7.3%)	22 (3.8%)	75 (13.0%)	26 (4.5%)	2 (0.3%)	120 (20.8%)
定期的に豊富な情報提供を行うMRを多く有している	382 (100.0%)	218 (57.1%)	15 (3.9%)	5 (1.3%)	46 (12.0%)	19 (5.0%)	3 (0.8%)	76 (19.9%)
有害事象を適切に報告し、発生時も迅速に対応できる体制がある	565 (100.0%)	286 (50.6%)	31 (5.5%)	11 (1.9%)	76 (13.5%)	26 (4.6%)	1 (0.2%)	134 (23.7%)
コールセンターなど、本社部門での対応が充実している	442 (100.0%)	218 (49.3%)	22 (5.0%)	8 (1.8%)	55 (12.4%)	24 (5.4%)	2 (0.5%)	113 (25.6%)
Webサイトにおける医師向けの情報提供が充実している	351 (100.0%)	194 (55.3%)	26 (7.4%)	4 (1.1%)	27 (7.7%)	12 (3.4%)	2 (0.6%)	86 (24.5%)
資材などによる患者向けの情報提供が充実している	342 (100.0%)	187 (54.7%)	23 (6.7%)	5 (1.5%)	32 (9.4%)	14 (4.1%)	1 (0.3%)	80 (23.4%)
医師向け勉強会や講演会が充実している	294 (100.0%)	165 (56.1%)	14 (4.8%)	3 (1.0%)	28 (9.5%)	11 (3.7%)	2 (0.7%)	71 (24.1%)
新薬も産み出すことができる高い開発力を有している	350 (100.0%)	229 (65.4%)	12 (3.4%)	3 (0.9%)	37 (10.6%)	8 (2.3%)	2 (0.6%)	59 (16.9%)

後発医薬品の処方選択において重要視している項目で、 一番評価するメーカー

■ファイザー ■沢井製薬 ■日医工 ■第一三共エスファ ■meiji seikaファルマ ■テバ製薬 ■その他





<会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-16-5 さいとうビル 4F

代表者 : 代表取締役 山内善行 設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 生活者と医療機関の距離を縮める サイト理念: 感動をシェアしよう!

URL : <http://www qlife.co.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先: 株式会社 QLife 広報担当 田中

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp
